

成果指標				
成果指標	誤検針と判明した件数÷検針委託総件数＝誤検針率			
指標設定の考え方	適正な水道料金を算定するため、正確な検針業務に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	0	0	0
実績	0.01	0.01	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>ハンディ端末機による検針業務を迅速に実施することで、業務の効率化や水道使用者に対し、正確かつ的確に使用水量・料金の通知が行われている。また、今年度は検針員に対し「水道メーター検針業務研修会」を開催した。今以上に綿密な検針業務を行うためには、より一層、検針員に「検針時における注意事項」の周知徹底を図る必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>ハンディターミナルの導入により、適切かつ正確な検針が実施されており、また検針業務を委託したことで事務の効率化や給水装置の異常発見などその効果は顕著に現れている。しかし、検針誤りや検針マナーについて、使用者からの苦情も現実として発生していることから、検針員に対し定期的な「研修会」を開催し指導や意見交換を行い、今以上の信頼を得る検針業務を実施する必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	